

## 「ポストダーバンにおける市場メカニズム」傍聴報告

2012年12月3日

一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2012年11月26日～12月7日にカタール・ドーハで開催された国連気候変動枠組条約第18回締約国会議 (COP18) において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル：ポストダーバンにおける市場メカニズム (Market Mechanisms in a Post-Durban International Climate Regime)
- 日時：2012年12月3日 (月) 15:00 - 16:30
- 主催：ハーバード大学 (Harvard University)、国際排出量取引協会 (International Emissions Trading Association)、Enel 基金 (The Enel Foundation)
- 会場：Side Event Room 7 (Qatar National Convention Centre)
- プレゼンター：David Hone (国際排出量取引協会), Axel Michaelowa (チューリッヒ大学), Simone Mori (Enel 基金), Robert Stavins (ハーバード大学),

### ■ 概要

ダーバンプラットフォームや京都議定書の第二約束期間に向けての、新たな市場メカニズムのデザインと潜在的な役割について議論がなされた。

#### 1. Robert Stavins (ハーバード大学): 「ポストダーバンにおける市場メカニズム (Market Mechanisms in a Post-Durban International Climate Regime)」

- 温室効果ガス排出源は、多様で数多くあるため、カーボンクレジットメカニズムを利用した市場ベースの政策手法は必要不可欠である。
- クレジットの価格を適正にすることが必要だが、それだけでは足りない。これまでは、民間部門の研究は少なかったが、今後は研究を促進する必要がある。例えば炭素回収・貯留 (CCS) のように政府の財政支援によって、民間部門の R&D を促進することが大事だ。
- メカニズムを利用するに当たり、途上国の参加が必要不可欠である。
- 排出削減クレジット (ERC) システムで、国と地方のキャップ&トレードシステムや他のシステムが連結できる。また、これはコペンハーゲン・カンクンでのプレッジ&レビューシステムの刺激となる。

#### 2. Axel Michaelowa (チューリッヒ大学): 「新たな市場メカニズムは民間部門から排出削減を促すことができるか (Can New Market Mechanisms Mobilize Emission Reductions from the Private Sector?)」

- 新たな市場メカニズムにおける政策担当者の役割は、プロジェクトベースのメカニズムを越えた、より大規模な削減活動の政策を立てることである。
- トランザクションコストは、オペレーションの標準化を行うことにより削減できる。
- 追加性の問題を解決する事が大事であり、それにより地球規模の削減に貢献する。
- 新たな市場メカニズムは、国の事情に応じて構築する事が望ましい。
- 民間部門の排出削減を促すために、フリーライディングやメカニズムに内在する不確実性（ベースラインや追加性）の問題を、解決しなければならない。手法としては、排出のバウンダリー定義の厳密化、政府による保証、資金のデポジットシステムの導入が挙げられる。

### 3. David Hone (国際排出量取引協会): 「新たな市場メカニズムの考察 (Thoughts on a New Market Mechanism)」

- 欧州連合域内排出量取引制度 (EU-ETS) のような ETS 市場同士の連結を行うためには、AAU<sup>1</sup>のような排出の絶対量を削減するためのマネジメントシステムが鍵となる。排出の絶対量を取引するには、キャップ&トレードのような仕組みが適している。
- 新たな市場メカニズムの核は、各国に割り当てられる AAU の役割に類似したツールになるだろう。
- 機能する炭素市場を構築するために、より全体を俯瞰する考えが必要となる。

### 4. Simone Mori (Enel 基金): 「新たな市場メカニズムは民間部門の関与をより高める (New Market Mechanisms to mobilize private sector engagement)」

- 炭素市場の過度の細分化を防ぐために、UNFCCC の下での共通のフレームワークが必要である。
- 新たな市場メカニズムにより、国内では炭素市場を構築できない国に対しても、追加的な削減手段が利用できるだろう。
- 新たな市場メカニズムは、国際的に宣言した途上国の国内排出削減目標を達成するために利用されるだろう。

#### ■ 質疑応答

Q. (南アフリカ政府関係者): 既存のプロジェクトやメカニズムと比較して、新たな市場メカニズムでは何が争点となるか。

A. Simone Mori (Enel 基金): プロジェクトにおいては、ベースラインの設定方法が主要な議論となるだろう。また、メカニズムに関しては、開発と持続可能な環境の達成のための評価方法について議論されると思う。

(報告者: OECC 木村 進一)

<sup>1</sup> Assigned Amount Unit の略



これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official report by the meeting organizer. Do not quote.

---

COP18 サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版：[http://www.mmechanisms.org/relation/details\\_oecc\\_COP18report.html](http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_COP18report.html)

英語版：[http://www.mmechanisms.org/e/relation/details\\_oecc\\_COP18report.html](http://www.mmechanisms.org/e/relation/details_oecc_COP18report.html)